

# 平成27年度6月補正予算案について

## 1 予算編成の基本姿勢

平成27年度6月補正予算は、いわゆる骨格予算として編成した当初予算に、政策判断を要する新規事業などを肉付けする予算として編成する基本方針のもと、人口最少県である本県が地方創生を先導し、鳥取の元気を創り、鳥取の誇りを確立するための予算を積極的に盛り込むこととした。

具体的には、「鳥取元気プロジェクト チャレンジ70」を推進するための施策として、「人を元気に」「産業を元気に」「まちを元気に」「改革と絆で元気に」の4つの項目に沿って、部局横断で重点的に取り組むための推進本部を立ち上げ、市町村、関係団体、当事者の方々など現場の御意見を十分に伺いながら施策内容を練り上げた上で、予算編成を行った。

公共事業については、国全体の事業費が前年度同水準となる中、効率的な物流ネットワークを整備し、競争力を強化する観点から、本県関連の直轄事業が大きく事業費を伸ばすとともに、一般公共についても地域高規格道路網の整備や事前防災・減災対策を中心に所要額が確保された結果、前年度当初予算対比7.7%増となった。

以上の結果、補正予算の総額は195億円余となり、肉付け予算としては過去最大規模となった。

## 2 予算規模

補正額 19,533百万円  
補正後 353,102百万円  
(前年度当初予算 337,959百万円、+4.5%)

( 財 源 : 国 庫 支 出 金 6,709百万円  
          県 債 5,564百万円  
          地 方 交 付 税 1,384百万円      など )

## 3 主な事業

### 「鳥取元気プロジェクト チャレンジ70」の推進に向けた施策

#### 人を元気に

「子育て王国とっとり」をさらに充実させ、安心して子育てできる環境整備を進めるほか、高齢者の健康を増進しつつ知恵や技術を地域で役立てていただける仕組みを作る。また、女性が輝く社会づくりを目指すほか、障がい者と健常者の共生社会づくりを一層進める。

( 第3子以降保育料無償化事業、特別医療費(小児)助成事業費(市町村システム改修等助成)、輝く女性活躍職場づくり支援事業、いきいきサポートシニア人材バンク事業、人生充実応援事業、児童虐待防止緊急対策事業、美術館整備基本構想策定事業 ほか )

## 産業を元気に

地域の雇用をしっかりと守るため、就業環境の改善、経営革新、起業・事業継承等の支援を積極的に行うほか、観光振興の取組を進める。また、食のみやこ鳥取県の強みを活かし、元気な農林水産業の振興を図るため、鳥取和牛の再興や「木づかいの国とっとり」の推進、また、県産品の輸出拡大や6次産業化など、とっとりフードバレー戦略を推進する。

正規雇用1万人チャレンジ事業、鳥取県版経営革新総合支援事業、正規雇用転換促進助成金、未利用施設等を活用した立地環境整備支援事業、事業承継促進事業、とっとりモデルの共同受注体制構築事業、日本海沖メタンハイドレート調査促進事業、6次産業化・食品加工人材育成等推進事業、鳥取和牛振興総合対策事業、「木づかいの国とっとり」推進事業、「とっとりへウエルカニ」お泊まりキャンペーン事業 ほか

## まちを元気に

さらなる移住定住施策を展開するとともに、高速道路の整備促進や空港の空の駅としての発信など、地域の発展基盤を整備する。また、三徳山・三朝温泉の日本遺産認定を契機とした地域の取組を支援するほか、オリンピック・ホストシティや国際的なスポーツ合宿の誘致など新たな地域活性化につながる対策に取り組む。

移住定住受入体制づくり支援事業、アクティブシニア移住（CCRC）推進事業、空の駅魅力向上事業、祝！三徳山・三朝温泉日本遺産初認定記念事業、オリンピックホストシティ交流支援事業、山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業、地域高規格道路整備事業 ほか

## 改革と絆で元気に

暮らしを支える小さな拠点づくりや地域で支え合う体制整備を支援するほか、障がいを知りともに生きる「あいサポート運動」や手話言語条例をさらに全国に広める。また、企業等と連携し未来の人材を育成するための奨学金支援制度を創設する。

小さな拠点モデル促進支援事業、とっとり式生活支援システム構築事業、とっとり支え愛体制づくり事業、あいサポート運動拡大促進事業、鳥取県未来人材育成奨学金支援事業 ほか

## 公共事業

公共事業については、国全体の事業費が前年度同水準となる中、効率的な物流ネットワークを整備し競争力を強化する観点から、鳥取西道路全線において満額が配分されるとともに、鳥取自動車道及び山陰道米子道路の付加追越車線整備に向けた事業費が確保された。また、山陰近畿自動車道の鳥取 - 福部間について計画段階評価に向けた調査に着手されることとなった。さらに港湾事業において境港竹内南地区ふ頭再編改良事業が新規採択されるなど、本県関連の直轄事業が大きく事業費を伸ばした。

一般公共では、岩美道路について27年度供用予定区間（浦富IC - 岩美IC）の必要額が確保された。また、北条湯原道路において倉吉道路及び倉吉関金道路の事業進捗が図られるなど、県の産業活動等の骨格となる高規格道路網の整備について所要額が確保されるとともに、事前防災・減災対策を中心に重点配分された結果、公共事業全体で前年度当初予算対比7.7%増となった。

## 【平成 27 年度 6 月補正後予算 公共事業】

(単位:百万円、%)

区 分	平成 27 年度 当初予算額 a	6 月補正 予算額 b	6 月補正後 予算額 c=a+b	平成 26 年度 当初予算額 d	比 較 c / d
一般公共	21,922	9,206	31,128	28,406	109.6
直轄事業	4,519	1,506	6,025	4,594	131.2
県単独公共	8,160	1,253	9,413	9,465	99.5
災害公共	4,599	0	4,599	5,030	91.4
合 計	39,200	11,965	51,165	47,495	107.7

## 4 予算規模の変動率推移

(単位:%)

年 度	2 2	2 3 (肉付け後)	2 4	2 5	2 6	2 7	
						当初	6月補正後
本県当初予算	1.3	0.3	0.9	+0.1	+2.3	1.3	+4.5
地方財政計画	0.5	+0.5	0.8	+0.1	+1.8	+2.3	
国の予算	+4.2	+0.1	2.2	+2.5	+3.5	+0.5	

## 5 主な内訳

(単位:百万円、%)

区 分	H 2 7 年度			H 2 6 年度	比 較		
	当 初	6月補正	合 計		金 額 =	変動率 /	
予 算 規 模	333,569	19,533	353,102	337,959	+ 15,143	+ 4.5	
歳 入	県 税	51,026	0	51,026	45,931	+ 5,095	+ 11.1
	地方交付税	137,200	1,384	138,584	138,154	+ 430	+ 0.3
	県 債	38,672	5,564	44,236	41,388	+ 2,848	+ 6.9
	臨時財政対策債	19,100	878	19,978	22,708	2,730	12.0
	臨時財政対策債除き	19,572	4,686	24,258	18,680	+ 5,578	+ 29.9
	<再掲>交付税+臨財債	156,300	2,262	158,562	160,862	2,300	1.4
歳 出	一般事業	294,369	7,568	301,937	290,464	+ 11,473	+ 3.9
	うち公債費	62,656	0	62,656	61,735	+ 921	+ 1.5
	公共事業	39,200	11,965	51,165	47,495	+ 3,670	+ 7.7

## 6 財政調整型基金の取り崩し

(単位:百万円)

基 金 名	H 2 7 年度			H 2 6 年度 当初予算
	当初予算	6月補正予算	合 計	
財政調整基金	0	0	0	0
減債基金	7,800	0	7,800	7,800
県立公共施設等建設基金	0	0	0	0
長寿社会対策推進基金	1,400	0	1,400	1,400
大規模事業基金	0	0	0	0
計	9,200	0	9,200	9,200